

令和5年度学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 道徳・心の教育の充実																																			
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）																																			
<table border="1"> <caption>Item 1: Responses to 'School respects each child'</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>44%</td><td>49%</td><td>6%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>73%</td><td>21%</td><td>5%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>70%</td><td>30%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	保護者	44%	49%	6%	1%	児童	73%	21%	5%	1%	教職員	70%	30%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 2: Responses to 'School nurtures human nature'</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>49%</td><td>46%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>50%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	保護者	49%	46%	5%	0%	教職員	50%	50%	0%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない																																
保護者	44%	49%	6%	1%																																
児童	73%	21%	5%	1%																																
教職員	70%	30%	0%	0%																																
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない																																
保護者	49%	46%	5%	0%																																
教職員	50%	50%	0%	0%																																
<p>考察 心の教育については、今年度も保護者・児童・教職員と9割を超え支持されている。保護者の方との連携や職員の情報共有による児童理解や「笑顔」を柱に据えた授業や特別活動での活躍の場の保証、道徳教育の充実や縦割り班活動等の成果だと感じている。また、「きずなアンケート」や「キミノミカタ」の活用、スクールカウンセラーの先生との連携により子ども1人1人へのかかわり方や支援の成果もあると考える。さらに保護者との連携や個のニーズの把握を徹底し、10割に向かう取り組みを行ってきたい。</p>																																				

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上	4 タブレット端末活用																																								
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。																																								
<table border="1"> <caption>Item 3: Responses to 'Effective and enjoyable lessons'</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>46%</td><td>47%</td><td>2%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>63%</td><td>29%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>20%</td><td>80%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	保護者	46%	47%	2%	5%	児童	63%	29%	7%	0%	教職員	20%	80%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 4: Responses to 'Tablet use in learning'</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>45%</td><td>51%</td><td>3%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>57%</td><td>36%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>40%</td><td>60%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	保護者	45%	51%	3%	1%	児童	57%	36%	7%	0%	教職員	40%	60%	0%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない																																					
保護者	46%	47%	2%	5%																																					
児童	63%	29%	7%	0%																																					
教職員	20%	80%	0%	0%																																					
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない																																					
保護者	45%	51%	3%	1%																																					
児童	57%	36%	7%	0%																																					
教職員	40%	60%	0%	0%																																					
<p>考察 わかる授業、楽しい授業への児童の割合は昨年度より高く、「やる気」を持って子どもたちが学びに向かうことができている。ICTの活用や対話を通しての学び合いの良さをさらに実感し、児童の「やる気」を高めていきたい。教職員も、「学びわくわく熊本市の授業づくり」をもとにした授業づくりに加え、校内研修での実践を積み重ね、子どもたちの学び取る授業へのバージョンアップを図りたい気持ちが表れているものと思われる。タブレットの活用においては、児童の活用度や有用度が昨年度より伸びている。学習においてタブレットを活用する良さを実感でき、学び合いを充実させることができていると思われる。</p>																																									

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制	6 共生社会を担う人材の育成																																			
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。																																			
<table border="1"> <caption>Item 5: Responses to 'Support system for children in need'</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>36%</td><td>43%</td><td>5%</td><td>17%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>50%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	保護者	36%	43%	5%	17%	教職員	50%	50%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 6: Responses to 'Mutual understanding through exchange'</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>38%</td><td>47%</td><td>15%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>73%</td><td>24%</td><td>3%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>30%</td><td>20%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	保護者	38%	47%	15%	0%	児童	73%	24%	3%	0%	教職員	50%	30%	20%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない																																
保護者	36%	43%	5%	17%																																
教職員	50%	50%	0%	0%																																
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない																																
保護者	38%	47%	15%	0%																																
児童	73%	24%	3%	0%																																
教職員	50%	30%	20%	0%																																
<p>考察 学校の支援体制については、教職員と保護者で開きが見られ、無回答も見られた。学校の支援体制の見えにくさがあり、保護者へ伝わりにくい面もある。学習面に限らず、生活面やコミュニケーション面等個に応じた支援の見える化や保護者への啓発等学校の取り組みを学校HPを中心に知らせていきたい。半面、「交流及び共同学習」等においては、昨年度より無回答の割合が減っている。子どもたちが様々な人と、様々な体験学習や交流学習を通して学ぶ姿を、学校HPを中心に伝えた成果だと思われる。さらに今後も、「交流及び共同学習」の意義や学びの様子をしっかりと伝えていきたい。</p>																																				

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進																																				
7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力																																			
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。																																			
<table border="1"> <caption>安全教育に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>「そう思う」</th> <th>「どちらでもない」</th> <th>「そう思わない」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>43%</td> <td>53%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>76%</td> <td>23%</td> <td>1%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>30%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」	保護者	43%	53%	2%	2%	児童	76%	23%	1%	0%	教職員	30%	70%	0%	0%	<table border="1"> <caption>家庭や地域との連携協力に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>「そう思う」</th> <th>「どちらでもない」</th> <th>「そう思わない」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>37%</td> <td>54%</td> <td>2%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」	保護者	37%	54%	2%	5%	教職員	40%	50%	10%	0%
対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」																																
保護者	43%	53%	2%	2%																																
児童	76%	23%	1%	0%																																
教職員	30%	70%	0%	0%																																
対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」																																
保護者	37%	54%	2%	5%																																
教職員	40%	50%	10%	0%																																
<p>考察 安全教育については、地理的な環境から天候による道路状況や獣の出現等早めの情報収集に心がけ、保護者、児童への情報提供を行ってきた。また、警察や消防と連携しての避難訓練等を通して、児童の安全意識、防犯意識を高めることができたように思う。今後は、児童自らによる安全な登下校や交通安全に向けた取り組みを支援していきたい。家庭や地域との連携については、今年度も「そう思う」の割合が9割を超えている。学校だよりや学級通信、学校ホームページの校長ブログで児童の様子を伝えたり、児童の頑張りを直接伝えたりしている成果だと思う。今後も連携・協力を深め、ともに児童の成長につなげていきたい。</p>																																				

⑤ 河内小学校の教育																																									
9 教育目標『笑顔』	10 教育目標『元気』																																								
子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	子どもは、好き嫌いなく食事をし、適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。																																								
<table border="1"> <caption>『笑顔』に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>「そう思う」</th> <th>「どちらでもない」</th> <th>「そう思わない」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>52%</td> <td>46%</td> <td>1%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>72%</td> <td>26%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」	保護者	52%	46%	1%	1%	児童	72%	26%	2%	0%	教職員	40%	60%	0%	0%	<table border="1"> <caption>『元気』に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>「そう思う」</th> <th>「どちらでもない」</th> <th>「そう思わない」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>51%</td> <td>38%</td> <td>8%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>42%</td> <td>40%</td> <td>17%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>30%</td> <td>40%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」	保護者	51%	38%	8%	3%	児童	42%	40%	17%	1%	教職員	30%	40%	30%	0%
対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」																																					
保護者	52%	46%	1%	1%																																					
児童	72%	26%	2%	0%																																					
教職員	40%	60%	0%	0%																																					
対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」																																					
保護者	51%	38%	8%	3%																																					
児童	42%	40%	17%	1%																																					
教職員	30%	40%	30%	0%																																					
<p>考察 『笑顔』については、保護者・教職員の「そう思う」の割合が昨年度と同様に9割を大きく超えた。友達との良好な関わり方や思やりのある学級づくりを職員と児童で実践し、10割を目指していきたい。また、教育活動の様々な場や学級目標で『笑顔』『元気』『やる気』が合言葉となり、児童自ら実践につながっていると考えられる。今後も、みんなの合言葉として、様々な実践につなげていきたい。『元気』については、保護者、児童、教職員とも「そう思わない」の割合が昨年度より増えた。それぞれの共通の明確に目標を立てる等、日々の実践へつなげられるような取り組みを行いたい。</p>																																									

⑤ 河内小学校の教育																					
11 教育目標『やる気』																					
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。																					
<table border="1"> <caption>『やる気』に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>「そう思う」</th> <th>「どちらでもない」</th> <th>「そう思わない」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>40%</td> <td>49%</td> <td>7%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>53%</td> <td>41%</td> <td>5%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」	保護者	40%	49%	7%	2%	児童	53%	41%	5%	1%	教職員	40%	60%	0%	0%	
対象	「そう思う」	「どちらでもない」	「そう思わない」	「わからない」																	
保護者	40%	49%	7%	2%																	
児童	53%	41%	5%	1%																	
教職員	40%	60%	0%	0%																	
<p>考察 『やる気』については、児童の「そう思う」の割合が昨年度より増えた。項目3の「わかる授業、楽しい授業」の伸びとともに子どもたちが意欲的に授業で学び取っている姿に現れているように思う。また、先生方の課題提示等工夫した導入にも、その成果が表れていると思われる。「対話」による学び合いを今後も授業づくりの柱とし、児童の「やる気」を高めていきたい。</p>																					

来年度の具体的な取組について

- 児童一人一人のよさを全職員で共有する情報交換会を継続するとともに、「キミノミカタ」のアンケートや、SC等の積極的活用も継続する。また、毎時間の道徳の授業を中心に、心の教育を充実させていく。
- 授業力向上に向けては、ステップアップサポーター等外部講師を積極的に招いての研究会を実施する。
- 児童一人一人への支援の見える化へ向けて、教室環境のUD化を積極的に図ったり学校HPでの啓発を行っていく。「交流及び共同学習」への啓発は引き続き学校HPで継続していく。
- Kumamoto Education Weekに6年生が参加し、小中一貫校への夢や思いを語った。その夢や思いを実現できるような支援を行い、小中連携の充実を図っていきたい。
- 「元気」においては、今年度ストレッチの取り組みや縦割り班遊び等体力面での取り組みはできた。来年度は、そこに食育も連携させた取り組みを行い、「元気」のパワーアップを図りたい。

学校関係者評価

- あいさつがどんどん上手になってきている。（立ち止まってあいさつする児童もいて感心している）
登下校も仲良く、安全に帰っているようで、このまま続けてほしい。
- トイレ問題がこの前新聞に出ていた。河内小学校はその問題もなく、気持ちよく学校生活を送れていて安心している。過ごしやすい環境づくりをトイレ以外にも広げてほしい。
- 道徳の大切さを感じている。河内小学校は、心の教育の評価も高く、授業づくりにおいても工夫が見られるようだ。引き続き、児童の心の教育を推進し、いじめや不登校の解消につなげてほしい。